

## 編集委員会から

### 識別子とは？ (DOI, e-Rad, ORCID)

DOIとe-Radについては、大学の研究者は誰でも知っていると思います。またe-Radの番号も保有しているはずですが、前にも説明しましたが、DOIはDigital Object Identifier (デジタルオブジェクト識別子)のことで、インターネット上のドキュメントに恒久的に与えられる識別子です。現在、学術論文はインターネット上の公開がふつうなのでDOIが付与されています。この結果、早期公開で頁数がふられていない論文もDOIにより、確認できます。

人間の識別子(番号)ですが、既にマイナンバーがあります。ただし、マイナンバーの用途は限定されており、研究者の識別番号としては利用が難しいので、e-Radがスタートしました。いろいろな研究費の申請を同じ識別番号で申請することを目的としています。以前は、複数の番号を使用していましたが、現在は一元化されe-Rad番号が利用されています(e-Radは府省共通研究開発管理システムの番号であり、おそらくe-Research and Developmentの省略形と思われます)。

もともとは研究費申請番号の一元化のために開発されましたが、研究者個人の識別子と考えると、研究成果の公開などにも利用できるためResearchmapというデータベースシステムにリンクされています。Researchmapは科学技術振興機構(JST)が運営しており、研究者のプロフィール(経歴・論文リスト等)が公開されています。現在は統合していますが、JSTは以前に同様なデータベース「研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)」を扱っていました。

複数のデータベースがあり、大学固有のデータベースもあり、大学教員は毎年、これらの入力を行わなければならない時間を費やしています。私も毎年の頭痛の作業でしたが、私の大学は固有データベースを止めてResearchmapを利用することになりました。煩雑な作業が減り、一歩前進のように思いますが、問題はDOIと同様に世界標準がどうなっていくかです。

ORCID(オーキッド, Open Researcher and Contributor ID)は、国内では認知度は低いと思いますが、これも個人識別番号です。米国の非営利団体が運営しています。投稿の際にORCIDを利用することを推奨している(あるいは必須にしている)学術雑誌もあります。ORCIDは上記のResearchmapと同様に個人データベースなので履歴、研究成果(論文リスト)、研究内容(キーワード)が含まれます。論文については、既存のデータベース(例えばSCOPUS)から一括でインポートできますので、入力の必要がありません。また、投稿時にORCIDを入力しておけば、その論文が出版されると自動的にORCIDのリストに反映されます。今まで、自分の論文リストを作成するためにひたすら入力してきたことを思い返すと、瞬時に完成するので思わず“あ！”と声をあげたくなります。日本食品工学会誌もORCIDを推奨すべきかもしれません。

(追記: データサイエンスの進化は著しいので、最新の情報を確認してください。既にResearchmapへORCIDからデータをインポートできるようになっています。ORCIDの詳細は下記論文を参照してください。宮入暢子. 研究者識別子 ORCID: 活動状況と今後の展望. 情報管理, 59, 19-31 (2016). [https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/59/1/59\\_19/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/59/1/59_19/_pdf))

(山口大学 山本修一)